

令和 8 年 3 月 5 日
民生文教常任委員会説明資料
企画部市長公室 DX 行革推進課
市民生活部環境・経済室環境課

芦屋市立あしや温泉について

令和 7 年 12 月 2 日の民生文教常任委員会においてご説明いたしました、芦屋市立あしや温泉（以下、「あしや温泉」）のサウンディング型市場調査に続く、事業提案をいただいた民間事業者へのヒアリングを実施しました。

現在、本ヒアリングを通じて、提案内容の相互理解や課題等を共有し、公募条件等の整理を進めているところです。

また併せまして、あしや温泉の現状及び今後の方針について、温泉利用者や、「芦屋市公共施設等総合管理計画」に対するパブリックコメント等により、広く市民から意見を募集しました。

なお、あしや温泉の今後に係る意見数は、パブリックコメントが 1 件、温泉利用者が 8 件でした。

1 ヒアリング等結果

- (1) （資料 1）芦屋市立あしや温泉の活用検討に向けたサウンディング型市場調査終了後のヒアリング結果について（事業者別）
- (2) （資料 2）芦屋市立あしや温泉意見箱ご意見一覧（概要）
- (3) （資料 3）芦屋市公共施設等総合管理計画（原案）への意見及び市の考え方（抜粋）

2 今後の予定

令和 7 年 9 月 2 日の民生文教常任委員会においてご説明しましたとおり、公設公営による温泉事業の継続は困難なため、民間事業者による「源泉を活用した事業」の提案を求めます。

提案募集の実施にあたっては、行政財産であるあしや温泉の用途廃止の手続きを行う必要があるため、令和 8 年 6 月議会にて、芦屋市立あしや温泉の設置及び管理に関する条例の廃止について提案することを想定しています。

なお、民生文教常任委員会後、隣接する木口記念会館の公益財団法人 木口福祉財団や自治会に説明をいたします。

3 あしや温泉の状況について

- (1) （資料 4）芦屋市立あしや温泉（施設概要）
- (2) （資料 5）【要約版】芦屋市立あしや温泉（施設概要）
- (3) （資料 6）【回答用紙】

芦屋市立あしや温泉の活用検討に向けたサウンディング型市場調査終了後のヒアリング結果について（事業者別）

No.	事業者・事業概要	興味のある活用方法	サウンディング調査の主な意見・提案				ヒアリングの主な意見（今回）
			現在の事業展開への評価	施設の今後の事業手法や利活用の事業者提案内容	建物に対する考え方	その他	
1	事業者 A 商業施設の開発・運営	・建物解体及び新築	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温泉が湧いており立地も良い。 ・足湯の設備が無料で利用できる。 ・温泉を提供できる設備がある。 ・身障者用の入浴施設がある。 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設の老朽化が始まっている。 ・駐車場台数が不足しているように感じる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・既存の施設の維持管理のみは行えないため、建替えでの温泉施設を利用した提案となる。 ・下をピロティにし、駐車場台数を現在よりも広げたプランでスーパー銭湯などを運営している会社と協業し温浴施設を提供する。 ・スキームとしては事業用借地権設定契約で土地を借り、建物所有者となって運営事業者に賃貸する。 ・上記スキームには大幅な料金改定が伴う。 	<ul style="list-style-type: none"> ・現時点での築年数では修繕して利用する施設だと感じる。 ・リニューアルの修繕費をかけて、新たな運営者を公募することが現実的だと感じる。 ・リニューアル後には新料金の設定が必要だと思われる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域の利便性と健康向上に貢献している施設だと思う。建て替えにはまだ早く、利用料金も大幅に上がると、現在日常的に利用している方が利用しづらい状況になると考えられる。 ・リニューアルをかけ、利用料金は必要最低限の値上げで運営をすることは現時点では望ましいかと考える。 	<p>■公募時の応募可能性</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3社とも応募意向あり <p>■源泉活用</p> <ul style="list-style-type: none"> ・足湯のみの継続利用案 ・温浴施設のみの継続利用案
2	事業者 B 住宅事業・開発事業	<ul style="list-style-type: none"> ・既存建物活用・温泉事業継続 ・その他（老人施設、ショートステイ、リハビリ等を、現在の駐車場部分に新設（運営や建築手法は今後検討） 	<ul style="list-style-type: none"> ・本温浴施設は介護浴を含めて継続利用が可能。 ・他事業と併設した場合、本温浴施設を利用・活用が可能。 ・温浴設備や建物の老朽化等の度合いが不明であり、建物全体としての維持管理や修繕計画に関する検討が必要である。 	<ul style="list-style-type: none"> ・老人施設（デイサービス、ショートステイ、リハビリ等）を、駐車場部分を中心に新築することで検討。（施設運営会社や建築手法に関し今後検討、サービスの運営は専門の運営会社にて行う等検討。） ・利用料金、事業収支等に関して、現在は不明のため今後検討。 ・強みは新施設に入浴施設等の設置が不要なため建物自体もコンパクトにかつコスト面でもメリットあり。 ・基本的な市場スキームは、定期借地か譲渡による買取りを想定。 	<ul style="list-style-type: none"> ・本温浴施設はリフォームにて、既存建物をそのまま利用することを検討。 ・新築建物については鉄骨造にて2～3階建て（1階部分は駐車場）。 ・高齢者施設を検討。 	<ul style="list-style-type: none"> ・新事業を検討するにあたり、既存の本施設の物件概要書のご提示を願いたい。 ・その他本施設の設備関係の詳細を改めてヒアリングさせていただきたい。 	<p>■事業期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・概ね20、30年以上 <p>■事業提案に要する期間</p> <ul style="list-style-type: none"> ・6か月程度
3	事業者 C 土地活用・設計・施工	・建物解体及び新築	<p>メリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・立地として、通行量もあり、小売業・飲食業の出店希望が多い。 ・近隣店舗にスーパーがあり、近隣住民の方の生活基盤となっている。 ・2号線、43号線と臨港線まで南北の生活幹線として市民から広く利用されている。 <p>デメリット</p> <ul style="list-style-type: none"> ・駐車場台数が10台弱のため、車での利用者が制限される。 ・縦列駐車等もあり、利用者が容易に駐車することが困難と考える。 ・敷地内に対して建物が大きく占めるため、閉鎖的な印象を受ける。 	<p>事業スキーム</p> <ul style="list-style-type: none"> ・芦屋市から当敷地を借地にて借り上げ、小売店を核とした商業施設を形成。 <p>目的</p> <ul style="list-style-type: none"> ・近隣の方々が日々利用できる施設の形成。 ・現在源泉が当敷地内にあるため、それを利用したい。 ・日常使いの小売店を誘致する。 ・施設専用駐車場を設け、芦屋市民の方々が車で利用できる施設とする。 <p>強み</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業施設を形成することにより、地域活性化につなげる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・建物の利活用は原則考えていない。 	<ul style="list-style-type: none"> ・立地・周辺環境など素晴らしいため、商業施設を組みなおし、新たに地域・市民の皆様が利用しやすい施設にしたいと考える。また、敷地内には源泉があり、地域の方々からは温泉としての認知があるため、温泉機能を付加した複合商業施設を目指したい。 	<p>■事業者の懸念事項</p> <ul style="list-style-type: none"> ・建物・土地の譲渡・貸付料 ・商業展開の場合の景観配慮 <p>■その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ・温浴施設は赤字部門となるので、継続が条件となれば、その他で事業性を考えなければならぬ。 ・災害時の市民の源泉活用は、協定により実現可能。

No.	事業者・事業概要	興味のある活用方法	サウンディング調査の主な意見・提案				ヒアリングの主な意見（今回）
			現在の事業展開への評価	施設の今後の事業手法や利活用の事業者提案内容	建物に対する考え方	その他	
4	事業者D フィットネス事業（指定管理）	—	・社内で協議した結果、この先の施設の老朽化の改修費用、運営のランニングコストなど、現状の利用料収入では収まりきらないとの判断に至った。	—	—	—	応募意向無しのため、ヒアリング実施せず。
5	事業者E スポーツ事業（指定管理）	・その他（民間による活用の場合の業務委託等）	・公共スポーツ・文化施設等、指定管理業務を担う弊社としては現行の利用状況や収支状況については市民の利便施設としての役割を担っていると考える。 ・指定管理料により運営が維持されており、民間手法にて同種同規模の運営を継続することは難しい。 ・設置から年数を経ており、施設の維持、修繕に多額の費用が必要であるが見込まれる。	（建物・土地はこのままで指定管理による運営を継続） 温浴施設として事業継続 ・受益者負担の観点より利用料金収入を増加することで、市の税負担を軽減する。 ・開館日や開館時間の縮小による、光熱水費や人件費等のコスト抑制を行い、指定管理料を削減する。 （土地はこのままで指定管理による運営を継続） 新たに子育て支援施設を設置 ・小学生ぐらいまでが楽しめる施設の設置 ※弊社は運営管理業務が主たる事業となるため、上記検討となる。 （その他民間活用の場合の想定） ・芦屋市保健福祉センターが同じ土地に設置されていることを生かした事業展開。（特別養護老人ホームやデイサービス等） ・住宅地または商業地としての転用	・温浴施設として事業継続する場合には貴市より教示いただいた修繕については必要と考える。 ・建物を利活用しないことを可とする場合は、建物解体費用について行政又は民間事業者のどちらが負担とするかの検討が必要。	—	
6	事業者F ビル管理・温浴施設・保養所運営管理	・その他（指定管理業務）	メリット ・利用料金が安価かつ湯質が非常によいため、地域や遠方の方が非常に利用しやすい。 ・足湯が無料で利用できる。 デメリット ・施設内の駐車台数が少ない。	・指定管理業務での提案。 ・利用料金に関しては、現在人件費や必要物品の高騰により、収支が大変厳しいと想定されるため、入浴料の一部を指定管理者の収入とする利用料金制度の導入が必要と考える。	・指定管理業務で提案したいと考えているため、現状のままの建物の活用を希望。	—	左記以上の提案はできない。

芦屋市立あしや温泉意見箱ご意見一覧(概要) (R7.12.10~R8.2.18)

No.	日付	住所	市内→町名 市外→市町名	利用区分	回答方法	分類	意見・提案
1	12月22日	不明	不明	不明	回答用紙	活用提案	赤字解消のため、 ・シニア料金を300円にする。(シニアほど金持ちで、若い人は貧乏です。) ・持ち帰りを有料にする。 ・市に税金をもっと活用するようお願いする。
2	12月29日	市内	不明	不明	その他	活用提案	・開業当初(H7~)からの利用者。 ・あしや温泉は、震災時には人を支え、現在は地域の居場所として利用されている。 ・この度、この温泉を未来に残すため、クラウドファンディングを実施したいと考えている。
3	1月9日	不明	不明	不明	回答用紙	活用提案	・娯楽施設の少ない芦屋にとっては唯一といえる娯楽施設であり、憩いの場として恩恵をもたらしている。このような場所をなくすのは如何なものか。再考を求める。クラウドファンディングの募集や民間の知恵を活用すべきではないか。(例:1,000円/人など)
4	1月9日	不明	不明	不明	回答用紙	活用提案	・こどもと来るこのあしや温泉が大好きです。泉質もいいしずっと続けるべきと思う。それには、芦屋市民全員から100円でも寄付を募るべき。
5	1月19日	市外	西宮市	シルバー	回答用紙	活用提案	・利用価格を上げてでも継続して下さい。
6	1月22日	市外	西宮市	大人	回答用紙	活用提案	・あしや温泉は芦屋の魅力のある重要な源泉であり、ぜひ継続してほしい。赤字も必要経費との考えもあるのでは。
7	1月30日	市内	不明	大人	回答用紙	活用提案	・月に6~7日は休み、朝風呂は開業しない。この時間、日数を埋めるために民間の力を借りることは必要かと思えます。ですが、完全に渡してしまうと料金も何倍にもなると思いますので、適切な行政の補助をもらって、安価の清潔な施設を続けてください。 夏季の客減少の対策にサウナ、水風呂を検討してください。(料金別途)
8	2月2日	市内	高浜町	シルバー	回答用紙	活用提案	・あしや温泉は老人の憩いの場。赤字であったとしても残してほしいです。受付に2名必要でしょうか。人件費、減らせませんか。

月日	写真	備考
12/10 ～12/14		<ul style="list-style-type: none"> ・設置当初
12/15 ～12/30		<ul style="list-style-type: none"> ・設置位置移設（左側⇒右側） ※左側は女性の利用に偏るため移設 ・その他展示撤去
12/31 ～2/18		
2/19		<ul style="list-style-type: none"> ・営業時間前に撤去

芦屋市公共施設等総合管理計画（原案）への意見及び市の考え方（抜粋）

3 意見の要旨及び市の考え方

項番	該当箇所	頁	市民からの意見（原文）	市の考え方
34	プロジェクト概要 （その他の施設）	57	あしや温泉について。 当方は、長らく芦屋市に住んでいるが、利用したこともなく恩恵も受けていないため、赤字運営は見直すべきだと考える。温泉事業にこだわらず、広く市民が利用できる施設になるよう望む。	【原案に盛り込み済み】 あしや温泉は、これまで公衆衛生の向上及び増進に寄与するとともに、利用者のふれあいの場として地域コミュニティ形成の役割も担ってまいりました。しかし、設備等の更新に一定の投資が必要となったことから、施設の利用実態や果たしてきた役割等を総合的に勘案した結果、現状の公設公営での継続は困難と判断いたしました。 現在、源泉を活用した事業について調査を行っており、民間事業者による活用の可能性も確認できております。今後、多くの市民の皆さまにご利用いただける施設となるよう検討を進めてまいります。

芦屋市立あしや温泉（施設概要）

令和7年9月

芦屋市

目 次

第1章 芦屋市立あしや温泉の施設概要.....	1
1 施設概要.....	1
2 沿革.....	3
第2章 あしや温泉の現状.....	3
1 利用者の状況.....	3
2 収支の状況.....	4
3 施設の状況.....	5

第1章 芦屋市立あしや温泉の施設概要

1 施設概要

名称：芦屋市立あしや温泉（以下、「あしや温泉」）

所在地：芦屋市呉川町14番11号（地番：芦屋市呉川町70番5）

種類：その他施設（温泉施設）／その他の公衆浴場（公衆浴場法）

構造：鉄筋コンクリート造平屋建

延床面積：469.42㎡（敷地面積：1,146.94㎡）

区域区分：市街化区域

用途地域：第二種中高層住居専用地域

建ぺい率：約41%

容積率：約41%

防火指定：指定区域（建築基準法第22条）

その他：防災情報マップの位置づけ

【土砂：なし、津波：0～0.3m、高潮：警戒レベル3、洪水：0.5～1.0m】

湧出量：139ℓ／分

建設費：約210百万円

主要施設：温浴施設（浴室・個浴室）、脱衣室、ホール、受付、スタッフルーム、足湯、給湯場、駐車場（9台分）、駐輪場、機械施設

温泉方式：源泉かけ流し

泉温：摂氏42.5度

泉質：ナトリウム－塩化物・炭酸水素塩泉、低張性、弱アルカリ性、高温泉、微淡濁黄色、無色、僅かな塩味、金気を有する

（※）震災により、本施設のケーシングパイプは、深度6.4m付近で屈曲している。

(付近見取図)



(施設外観)



(内観)



(足湯)



2 沿革

月日	内容	運営者
平成6年5月 ～同年11月	・(仮称)保健福祉総合センター温泉掘削工事	
平成7年1月	・阪神淡路大震災発災(営業開始延期) ・市内3か所の公衆浴場の閉鎖	
平成7年12月	・被災市民及び、公衆浴場の復活のため、営業開始	・兵庫県公衆浴場業環境衛生同業組合芦屋支部
平成11年10月	・持ち帰り湯完成	
平成21年4月 ～平成22年3月	・施設建替工事(一時閉館)	
平成22年4月 ～平成26年3月	・リニューアルオープン ・業務委託による運営	・平成22～24年は(株)大和研装社 ・平成25～26年は(株)京伸
平成26年4月 ～平成29年3月	・指定管理者による施設管理業務(第1期)	・(株)オーエンス
平成29年4月 ～令和4年3月	・指定管理者による施設管理業務(第2期)	・(株)オーエンス
令和4年4月 ～令和9年3月	・指定管理者による施設管理業務(第3期)	・(株)オーエンス

第2章 あしや温泉の現状

1 利用者の状況

あしや温泉の年間利用者数は、新型コロナウイルス感染症のまん延を境に、約9万人台から約6万人台へと減少し、現在は約8万人台にまで回復したものの、今後は、人口減少に伴い減少していくことが想定されます。

また、利用者を区分別にみると、約半数がシルバー世代の固定客であり、この傾向は今後も続くものと想定されます。

【表1】利用者の区分別構成割合(平成29年度以降)

項目	年度	単価 (円)	平成29年度		平成30年度		令和元年度		令和2年度		令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度	
			利用者数(人)		利用者数(人)		利用者数(人)		利用者数(人)		利用者数(人)		利用者数(人)		利用者数(人)		利用者数(人)	
			構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)	構成比(%)
市内	大人	380	26,278	27.0	24,646	26.2	24,200	26.4	14,903	24.6	13,905	22.7	20,051	25.2	19,355	25.7	22,519	26.8
	中人	130	1,329	1.4	1,239	1.3	1,067	1.2	426	0.7	612	1.0	1,076	1.4	1,053	1.4	1,210	1.4
	小人	60	1,365	1.4	1,255	1.3	1,208	1.3	622	1.0	606	1.0	921	1.2	869	1.2	776	0.9
	シルバー	260	51,529	53.0	50,728	53.9	49,860	54.4	34,451	56.8	35,335	57.6	40,957	51.4	38,076	50.5	40,611	48.3
障がい者等	大人	260	1,446	1.5	1,407	1.5	1,382	1.5	1,301	2.1	1,172	1.9	1,592	2.0	1,777	2.4	1,924	2.3
	中人	80	8	0.0	26	0.0	8	0.0	4	0.0	4	0.0	9	0.0	15	0.0	32	0.0
	小人	40	4	0.0	6	0.0	0	0.0	0	0.0	3	0.0	6	0.0	19	0.0	5	0.0
市外	大人	380	14,059	14.5	13,821	14.7	13,002	14.2	8,562	14.1	9,261	15.1	14,248	17.9	13,417	17.8	16,106	19.2
	中人	130	607	0.6	519	0.6	597	0.7	193	0.3	235	0.4	435	0.5	475	0.6	511	0.6
	小人	60	608	0.6	462	0.5	406	0.4	212	0.3	246	0.4	368	0.5	312	0.4	382	0.5
合	計	-	97,233	100.0	94,109	100.0	91,730	100.0	60,674	100.0	61,379	100.0	79,663	100.0	75,368	100.0	84,076	100.0

(※)表中の、「大人」は12歳以上、「中人」は6歳以上12歳未満、「小人」は6歳未満をいい、「シルバー」は65歳以上をいう。

(※)端数処理により、合計が100にならない場合があります。

2 収支の状況

あしや温泉の収支は、新型コロナウイルス感染症のまん延による利用者の減少に伴い、令和2年度は約19,000千円の支出超過となり、その後も、年間約15,000千円(直近5か年)の支出超過となっています。

この支出超過の状態は、利用者の減少や設備の維持、物価高騰等を見据えると、今後もより増加するものと推測されます。

【表2】芦屋市の収支状況(平成29年度以降)

(単位：円)

項目	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入額		29,643,494	28,683,076	27,949,016	18,492,286	18,598,402	24,523,522	23,240,832	26,198,986
入浴料		29,472,420	28,506,440	27,773,480	18,343,050	18,456,570	24,371,090	23,086,600	26,032,570
駐車料		49,000	51,200	50,100	23,800	17,800	28,400	30,200	43,200
目的外使用料		122,074	125,436	125,436	125,436	124,032	124,032	124,032	123,216
支出額		35,705,846	36,009,069	38,103,504	37,531,200	34,933,637	36,583,500	38,785,590	37,569,900
指定管理料		34,658,000	34,658,000	35,345,000	35,670,000	34,404,317	36,017,000	36,017,000	36,896,000
修繕費		895,320	671,760		299,200		566,500		
その他		152,526	679,309	2,758,504	1,562,000	529,320		2,768,590	673,900
収支差額		▲6,062,352	▲7,325,993	▲10,154,488	▲19,038,914	▲16,335,235	▲12,059,978	▲15,544,758	▲11,370,914

(※) 本施設では委託料制を採用しているため、利用料金はそのまま市の収入となります。

(※) 令和6年度は、決算見込値です。

【参考】指定管理者の収支状況(平成29年度以降)

(単位：円)

項目	年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度	令和5年度	令和6年度
収入額		35,830,628	35,807,068	36,446,980	36,255,391	34,999,675	36,928,318	37,019,098	38,196,167
指定管理料		34,658,000	34,658,000	35,345,000	35,670,000	34,404,317	36,017,000	36,017,000	36,896,000
自主事業収入		1,172,628	1,149,068	1,101,980	585,391	595,358	911,318	1,002,098	1,300,167
支出額		34,007,978	34,577,139	35,127,403	33,001,624	34,298,541	37,798,179	36,643,420	40,263,049
人件費		15,361,917	15,412,163	15,401,958	13,869,958	14,655,572	15,777,354	16,128,553	18,605,321
修繕費		129,600	363,126	183,874	917,995	993,930	556,303	1,378,025	350,812
委託料		2,363,287	2,547,629	2,432,305	2,342,813	2,924,297	2,596,220	2,320,709	2,683,996
光熱水費		12,605,709	12,642,749	13,004,519	11,205,875	11,447,902	14,517,739	12,548,474	13,603,727
その他市支出		2,809,209	2,908,714	3,367,699	4,126,928	3,824,695	3,632,016	3,592,791	4,218,467
自主事業支出		738,256	702,758	737,048	538,055	452,145	718,547	674,868	800,726
収支差額		1,822,650	1,229,929	1,319,577	3,253,767	701,134	▲869,861	375,678	▲2,066,882

(※) 令和6年度は、決算見込値です。

3 施設の状況

あしや温泉は、竣工から15年以上が経過し、ボイラーや空調機等の大型設備の老朽化が進んでいます。今後の安定した運営のためにも早期の改修が必要ですが、これには、約80,300千円の費用が見込まれています。

さらに、施設の長寿命化のため、建設から60年を迎えるまでこの施設を維持するためには、少なくとも、約404,600千円の費用が見込まれています。

【表3】あしや温泉の今後の施設整備費（60年目まで）

建物名	16		17		18		22		26		30		32		34	
	令和7年度	令和8年度	令和9年度	～	令和13年度	～	令和17年度	～	令和21年度	～	令和23年度	～	令和25年度			
	2025年	2026年	2027年	～	2031年	～	2035年	～	2039年	～	2041年	～	2043年			
		1年後	2年後	～	7年後	～	11年後	～	15年後	～	17年後	～	19年後			
浴室棟		80,300									200,000					
給湯設備			4,000		4,000		4,000		4,000				4,000			
計	0	80,300	4,000		4,000		4,000		4,000		200,000		4,000			

		38		42		46		47		50		54		58		60		(単位：千円)	
～	令和29年度	～	令和33年度	～	令和37年度	令和38年度	～	令和41年度	～	令和45年度	～	令和49年度	～	令和51年度	合計				
～	2047年	～	2051年	～	2055年	2056年	～	2059年	～	2063年	～	2067年	～	2069年					
～	23年後	～	27年後	～	31年後	32年後	～	35年後	～	39年後	～	43年後	～	44年後					
						80,300										360,600			
		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		4,000		44,000			
		4,000		4,000		4,000	80,300		4,000		4,000		4,000		0	404,600			

(※1) 令和6年度現在の物価水準で算出しており、後年度についての物価上昇分は見込んでいません。

(※2) 給湯設備は、深井戸モーターポンプ、揚湯管等の購入費及びこれらに付随する工事費を見込んでいます。

背景

芦屋市立あしや温泉の変遷と現状

【変遷】 芦屋市立あしや温泉（以下、「あしや温泉」）は、平成6年、当時、本市の「保健・福祉・医療」の総合的なサービスの拠点として建設を計画していた「（仮称）芦屋市保健福祉総合センター」内に、市民の方々にご利用いただける温浴施設を設置するため、兵庫県の許可を受け掘削しましたが、その翌年の阪神淡路大震災の発災により、計画を中断しました。そして同年12月、震災により倒壊した市内の公衆浴場の復活を希望する声に応えるため、掘削当初の目的を変更して、「（現）芦屋市保健福祉センター」建設までの間、過渡的に、被災された市民の方々のための公衆浴場として、「あしや温泉」を設置し運営してきました。その後、建設から約15年が経過した平成22年4月、現在の「あしや温泉」としてリニューアルオープンし、今日に至ります。

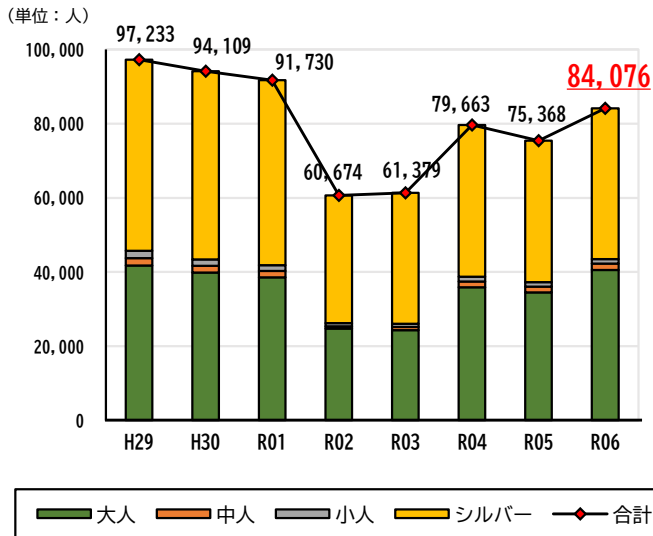
【現状】 あしや温泉は、「公共施設の最適化構想（令和3年策定）」にて、建築設備の更新時に今後の方向性の検討を要する施設と位置付けており、さらには令和8年度末、現在の指定管理者との契約が満了を迎えるところです。

また、あしや温泉は、公衆衛生の向上及び増進に寄与することに加え、利用者のふれあいの場として地域コミュニティ形成の機会としての役割も担ってまいりました。

この度、設備等の更新が必要となり、設備の更新時期、利用実態、設置目的に対して果たしてきた役割等を総合的に勘案した結果、市民へのサービスの提供及び機会の確保について、**現状での継続は困難である**と考えましたことから、源泉及び本施設の市場性等を把握し、最大限に活用する方法を模索するため民間事業者へ調査を実施した結果、あしや温泉の源泉等について、活用できる可能性を確認できました。

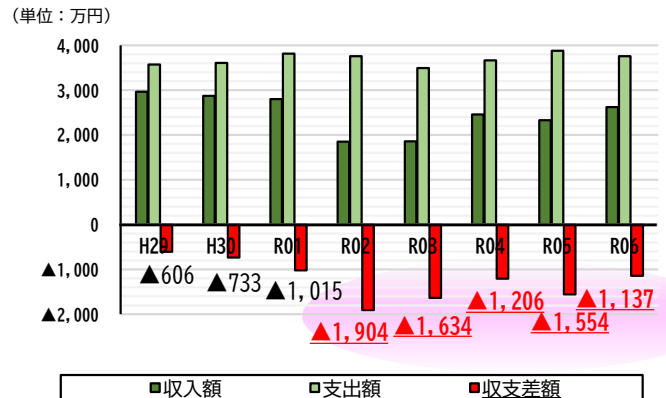
1 利用者の状況

- ① コロナ禍で落ち込んだ年間利用者数は8万人台まで回復しましたが、今後は人口減少によりさらに減少する見込み。
- ② 利用者の半数が、固定的な高齢者層。



2 収支の状況

- ③ 運営経費は年間約1,500万円（直近5か年平均）の収支赤字。
- ④ 人口減少・物価上昇等を加味すると、今後さらに赤字が増大する見込み。



3 施設の状況

- ⑤ 小規模改修（大型設備等の更新）に、約8,000万円、さらに施設の長寿命化（今後、45年間運営を継続するには、約4億円が必要）。

ご意見・ご提案を募集しています！！

・①～⑤のとおり、今後、あしや温泉の運営を継続するためには、少なくとも、**約10.8億円**を要する見込みです。

・現在、パブリックコメントを募集している「芦屋市公共施設等総合管理計画」（原案）では、あしや温泉は、「公益性の観点や支出超過が続いている状況を踏まえ、温泉事業または源泉を活用した事業について、民間事業者からの提案を募ります。採択される民間提案が無い場合は、公共施設の再配置を検討する施設」としています。

・本市の資源である、あしや温泉の源泉等の活用方法やあり方につきまして、参考とさせていただきたいので、**回答用紙**、または、**下記よりご意見・ご提案をいただきますようお願いいたします。**



《あしや温泉サウンディング型市場調査結果HPはコチラ》

(※) 約10.8億円は、長寿命化に係る建築設備改修経費：約4億円と、毎年の収支差額▲約1,500万円×45年との合計です。

(※) 上記の改修費用を含め、支出金額は令和6年度時点によるものであり、以後の物価上昇等は考慮していません。

(※) その他、各種数値及び各項目の詳細については「芦屋市立あしや温泉（施設概要）（市ホームページ）」をご覧ください。

(※) 「芦屋市公共施設等総合管理計画（原案）」に係るパブリックコメントへの回答を希望される場合は、QRコードのリンク先から回答ください。

【回答用紙】

○本市の資源であります、あしや温泉の源泉等の活用方法やあり方につきまして、
皆さまのご意見やご提案を記入してください。

【住所】 市内（ 町）・市外（ 市）	【利用区分】 シルバー・大人・中人・小人・個室浴
-------------------------------------	-----------------------------

(※) 回答にあたっては、現在のあしや温泉の現状は、「【要約版】芦屋市立あしや温泉（施設概要）」をご参考ください。

(※) この【回答用紙】へのご意見やご提案は、「芦屋市公共施設等総合管理計画（原案）」に係るパブリックコメントへのご意見欄には反映されませんのでご了承ください。